

# 公立豊岡病院紀要

第34号 2022



BULLETIN OF TOYOOKA HOSPITAL

No.34

令和5年3月31日

公立豊岡病院

豊病紀要

BULL. TOYOOKA HOSP.

# 巻頭言

公立豊岡病院紀要第 34 号の発刊にあたって

令和 2 年の新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生から令和 4 年末までで丸 3 年が経過しましたが、依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう状況が続いています。病院職員の皆様には、新型コロナウイルス感染症患者への対応で多大なご協力およびご支援を頂き、大変感謝致しております。コロナ禍がこのように長期化するとともに、病原性が低下して弱毒化するのを目の当たりにすると、さすがに病院職員でさえ感染症に対する警戒感が低下したように感じる今日この頃です。しかしながら、院内感染が発生すると病棟のロックダウンなどこれまでと同じ対応をせざるを得ない状況が続いています。今後いつまで現在のような対応を続けるのか、終わりが見えないので、困り果てるとともにもううんざりというのが皆さんの本音ではないかと思えます。令和 5 年 5 月からは 2 類感染症からインフルエンザと同等の 5 類感染症という分類になると聞いておりますが、病院としてどのように対応していくのか今後詳細に検討を加える必要があります。

ここで、コロナ感染症が当院の活動状況にどのような影響を与えたのかを知るために、いくつかの病院経営指標に対する影響を解析してみました。

図 1 に示すように、1 年間の入院患者数および外来患者数は令和 1 年度までは安定していましたが、コロナパンデミックが発生した令和 2 年度および令和 3 年度には、入院患者数が令和 1 年度に比べてそれぞれ約 12% および 11% 減少しました。外来患者数も同じように減少傾向を示しましたが、その減少の程度は小さく、令和 1 年度に比べてそれぞれ約 9% および 4% の減少でした。

図 1

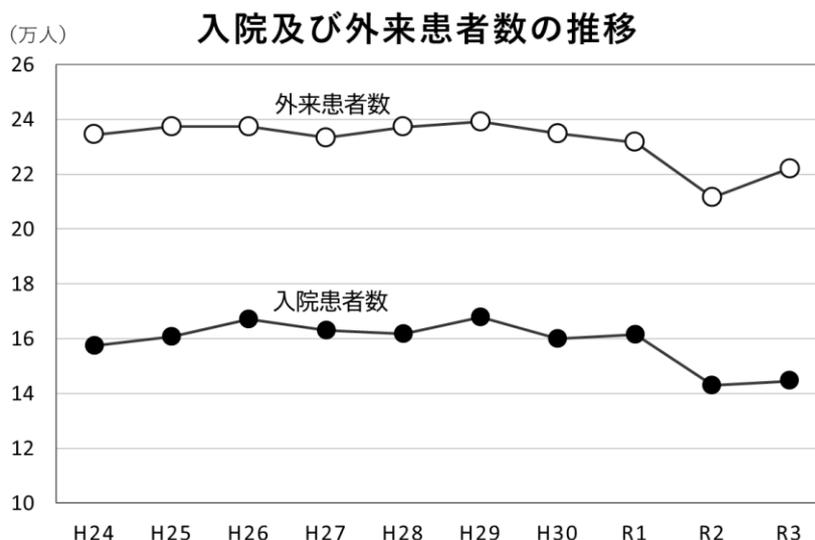


図2に示すように、1年間の手術件数（麻酔科が関与していない手術）および麻酔件数（麻酔科が関与した手術）は、平成27年度まではそれぞれ3,600件および2,100件前後で安定していましたが、平成28年度からいずれも増加して4,100件および2,600件前後に増加しました。しかしながら、いずれの件数もコロナパンデミック発生後には減少し、令和2年度には約15%および令和3年度には約11%の減少がみられました。

図2

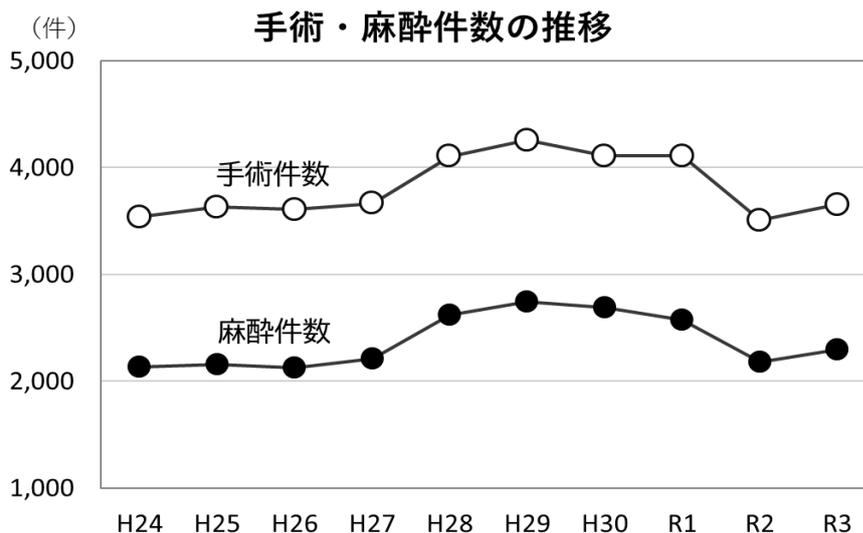
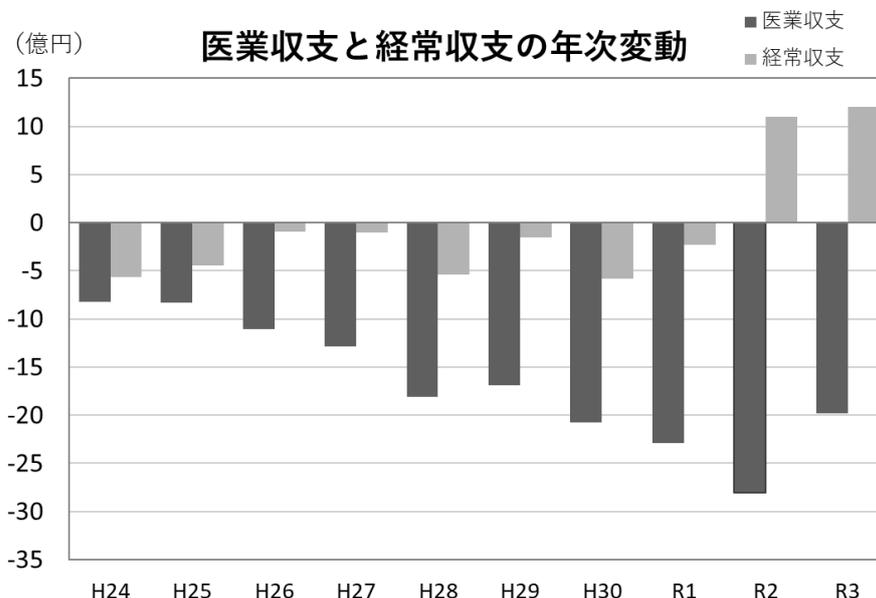


図3に示すように、医業収支は平成26年度から令和1年度まで、徐々に悪化していました。コロナパンデミック発生後の令和2年度の医業収支（約28.1億円の赤字）は発生前の令和1年度（約22.8億円の赤字）に比べ約23%悪化しましたが、令和3年度（約19.8億円の赤字）には令和1年度よりも約13%改善しました。一方、経常収支は、令和2年度および令和3年度いずれにおいても令和1年度のレベルよりも劇的に改善して黒字化しました（令和2年度および令和3年度は、それぞれ11億円および12億円の黒字）。

図3



コロナパンデミック発生後の令和2年度および令和3年度は、患者さんの自主的な病院への受診控えや感染拡大防止のための不急手術の延期や入院制限などにより、外来患者数および入院患者数、手術件数および麻酔件数が減少しました。そのため、令和2年度の医業収支が悪化しましたが、予想に反して、令和3年度の医業収支は大幅に改善しました。まず、令和3年度の医業収支の改善について分析してみたいと思います。当院では、令和1年度から落ち穂拾い活動および診療材料等のベンチマークシステムの活用を順次開始しました。落ち穂拾い活動とは、各種指導料やリハビリ等をこれまで介入できていなかった疾患にも確実に実施しようとする活動で、医療の質向上及び医業収益の増加に貢献するものと期待されます。一方、ベンチマークシステムの活用は、全国の購入価格を参考に価格交渉を行うもので、材料費削減による医業費用の削減が期待されます。令和3年度には入院患者数および外来患者数の減少にも関わらず医業収支が改善しましたが、この改善にはこれらの経営改善活動が大きく貢献したものと考えられます。

次に、令和2年度と令和3年度にみられた経常収支の劇的改善（黒字化）に関して考察してみたいと思います。令和2年度および令和3年度には、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（主には病床確保料）をそれぞれ16.9億円および13.1億円を支給されていますが、この補助金が経常収支の黒字化に大きく貢献したのは間違いありません。しかしながら、上述したように、令和3年度の医業収支が大幅に改善していること、令和3年度の上記交付金が令和2年度に比べて減少しているにも関わらず経常収支の黒字幅が維持されていること、などのデータに基づくと次のように結論できます。すなわち、「経営改善努力が成果を上げつつあったところに、コロナ補助金が支給されたため、経常収支が劇的に改善した」と考えられます。今後、経営改善活動をこれまで以上に活発化して、当院の経営を盤石化し、公立豊岡病院を将来長きにわたって但馬地域の基幹病院として存続させて行きたいと思います。

令和5年3月

公立豊岡病院長  
三輪 聡一



# 目 次

## 巻頭言

病院長 三輪 聡一

## 研究論文

メシル酸イマチニブによる術前化学療法にて  
肛門温存が可能であった直腸GISTの1例

外科 三木 明 他 1

## 研究業績

他誌掲載論文

6

学会他発表

9

講演

13

## 研究報告

フライトナース育成の促進

看護師長 吉谷 雅代 17

組織的役割遂行能力が発揮できるリーダーの育成

看護師長 由良 直子 19

## 資料

公立豊岡病院紀要投稿規定

21

公立豊岡病院紀要論文執筆要領

22

## 編集後記

23



## 私たちの基本理念

公立豊岡病院は但馬地域の基幹病院として、高度かつ最適な医療を安定的に提供し、地域住民の健康と生命を守り続けます。

## 豊岡病院の基本方針

1. 生命の尊厳と人権を尊重し、  
患者に寄り添う医療を提供します。
2. 診療科や職種を超えた  
連携によるチーム医療を推進します。
3. 24時間体制で最適な医療を提供します。
4. 医療安全を重視する組織文化を定着させ、  
安全・安心な医療を提供します。
5. 地域の医療・保健・福祉機関との  
相互連携を推進します。
6. 職員一人ひとりが、自覚をもって  
経営の健全化に努めます。
7. 医療水準向上を目的に、職員の  
研修・教育の充実を図ります。

# 研究論文

# メシル酸イマチニブによる術前化学療法にて肛門温存が可能であった

## 直腸 GIST の 1 例

公立豊岡病院組合立 豊岡病院 外科

三木 明、中口 雄太、栗根 健人、和田 征大、岡本 拓也、上村 良、内田 茂樹、坪野 充彦

### 要旨

70 歳台女性。股関節の手術の画像評価の際に、偶然に直腸の腫瘍を指摘され、精査で直腸 GIST と診断された。サイズが大きく、膣との境界が不明瞭であり、浸潤の可能性もあった。手術は、膣合併直腸切断術が必要と思われたため、科内のカンファレンスで、術前化学療法（以下 NAC）で縮小すれば、肛門温存も可能と判断し、NAC の方針となった。

メシル酸イマチニブで加療し、腫瘍が最も縮小したと判断した時に、経会陰的に腫瘍核出術を施行した。術後経過は良好で、肛門機能も温存することが可能であった。

術後も、メシル酸イマチニブの術後補助療法を施行し、現在無再発経過観察中である。

索引用語 : 直腸 GIST、術前化学療法、メシル酸イマチニブ

# 研究業績

## 他誌掲載論文

【消化器診療“虎の巻”-あなたの切実なギモンにズバリ答えます！】消化管 (Q03)漫然としたPPI投与は御法度？本当にCDIのリスクは上がる？

公立豊岡病院 消化器科  
宮垣亜紀

総合診療 (2188-8051) 31 巻 4 号  
Page424-425 (2021. 04)

### 文献概要

プロトンポンプ阻害薬(proton pump inhibitor : PPI)の長期投与によるさまざまな有害事象が報告されている。クロストリジウム・ディフィシル感染症(*Clostridium difficile* infection : CDI)もその1つである。すべて観察研究であり、RCT(randomized controlled trial)で示されたものはないが、今後の動向に注目が必要な領域である。もちろん漫然としたPPI長期投与は御法度である。

【消化器診療“虎の巻”-あなたの切実なギモンにズバリ答えます！】消化管 (Q06)*Helicobacter pylori* 除菌後の定期的な内視鏡フォローはいつまで行うの？

公立豊岡病院 消化器科  
宮垣亜紀

総合診療 (2188-8051) 31 巻 4 号  
Page432-434 (2021. 04)

### 文献概要

*Helicobacter pylori*(以下、*pylori* 菌)感染症は胃癌のリスクを高める。除菌を行うと発癌リスクは下がるが、ゼロにはならず、定期的な内視鏡フォローが必要である。どのくらいの間隔で検査を行うべきか、今のところガイドライン等で定められたものはないが、一般的に1~2年間隔での内視鏡検査が勧められている。また、年齢の上限や、いつまで行うかなども決まったものはないため、患者さんの基礎疾患や年齢、検査の負担などを総合的に判断して、いつまでフォローをするのか決めればよい。

【消化器診療“虎の巻”-あなたの切実なギモンにズバリ答えます！】消化管 (Q10)感染性腸炎に抗菌薬は本当に必要？

公立豊岡病院 消化器科  
宮垣亜紀

総合診療 (2188-8051) 31 巻 4 号  
Page442-444 (2021. 04)

### 文献概要

抗菌薬が必要な感染性腸炎は限られ、ルーチンで必要なものではない。感染性腸炎と一括りにしても、原因は細菌性・ウイルス性・寄生虫によるものに大別される。抗菌薬が必要なのは、細菌性腸炎の一部と寄生虫である。患者背景(既往歴や渡航歴など)や環境要因(市中感染か院内感染か)によっても、抗菌薬が必要か否かが変わってくる。

地域基幹病院における在宅気管切開児 16 例の臨床的検討

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>  
リハビリテーション技術科<sup>2)</sup>  
港 敏則<sup>1)</sup>、小谷栄恵<sup>2)</sup>

日本小児呼吸器学会雑誌 (2187-5731) 32 巻 1 号  
Page28-37 (2021. 06)

### 要旨

在宅の医療環境が整備され、人工呼吸器を要する在宅医療児が増えてきた。さらに非侵襲的陽圧換気の進歩で、児の発達に影響を及ぼす気管切開は限定的な実施が推奨されている。当院における気管切開児の在宅移行数は、10年間で6例(0.6例/年)であり、2009年度調査(1.4例/年)に比べ減少した。今回、10年間に管理した16例の臨床像を2009年度調査と比較検討し、biopsychosocial 的観点から課題を整理した。biological な問題点として様々な気管切開関連合併症がみられ、特に気管軟化症の急性増悪で致命的な事例を経験した。また背景疾患の多くを占める重症心身障がい児に伴う合併症/併存症が在宅療養に大きく影響した。psychological な問題では、ボディイメージ、言語表出などが原因での不登校児を経験した。social な問題では、医療的ケアが増え、

家庭機能の低下と考えられる事象(介護中での児の外傷、同胞の不登校)が散見された。これら biopsychosocial 的課題の解決が気管切開児の在宅療養向上のために重要である。

### 回腸導管造設術後の回腸回腸吻合部に発生した原発性小腸癌の1例

神戸市立医療センター中央市民病院 外科<sup>1)</sup>  
公立豊岡病院 外科<sup>2)</sup>

病理診断科<sup>3)</sup>

神部宏幸<sup>1)</sup>、三木 明<sup>2)</sup>、栗根健人<sup>2)</sup>、  
内田茂樹<sup>2)</sup>、中島直樹<sup>3)</sup>、坪野充彦<sup>2)</sup>

日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 82 巻 7 号  
Page1359-1362 (2021. 07)

#### 要旨

症例は膀胱癌に対して膀胱全摘、回腸導管造設術後の 62 歳の男性。術後フォローの CT で前回手術の回腸回腸吻合部に小腸腫瘍を認め、下部消化管内視鏡検査、病理組織検査の結果、原発性小腸癌疑いの診断となった。小腸部分切除を施行し、病理学的所見で原発性小腸癌と診断された。原発性小腸癌は比較的稀な疾患ではあるが、吻合部に発生する原発性小腸癌の報告は検索しうる限りでは認めなかった。病理組織学的所見からは、小腸腺癌のみならず多彩な分化度をもつ腺腫も存在しており、このことから回腸導管造設術後以降、吻合部粘膜への継続的な遺伝子変異が蓄積されてきたことが示唆される。吻合部自体が腫瘍の発生に寄与した可能性を考慮すると、回腸導管造設術の際の吻合部は下部消化管内視鏡検査で観察可能な範囲に作ることが肝要と考えられた。

### 前胸壁に発生した副乳癌の1例

公立豊岡病院 外科<sup>1)</sup>

乳腺外科<sup>2)</sup>

病理診断科<sup>3)</sup>

福井由紀子<sup>1)</sup>、水田 誠<sup>2)</sup>、

遠藤真一郎<sup>1)</sup>、坪野充彦<sup>1)</sup>、足立 靖<sup>3)</sup>

日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 82 巻 2 号  
Page350-354 (2021. 02)

#### 要旨

副乳癌は稀な疾患であり、その多くが腋窩からの発生で、乳房下溝尾側からの発生は極めて稀である。今回、乳房下溝尾側の前胸壁に発生した副乳癌の症例を経験したので報告する。症例は 48 歳、女性。左乳房下溝尾側の前胸壁皮下腫瘍を主訴に受診した。摘出生検にて、浸潤性乳管癌の亜分類である硬性型に類似した組織像を呈し、乳管内進展と考えられる所見も認めた。免疫組織化学では、GATA3・PCDFP-15・ER・PgR は陽性であった。乳房内に腫瘍を認めず、また milk line 上の乳房下溝に副乳の乳頭を認め、その尾側に腫瘍が位置していたことから副乳癌と診断した。断端陽性が疑われたため、残存腫瘍切除と margin 確保のため追加切除術を行った。術後補助療法として tamoxifen 内服を継続し、術後 2 年 6 ヶ月経過した現在、再発は認めていない。副乳癌の治療方針は確立されておらず、今後更なる症例の蓄積、検討が必要と考えられる。

### 大腿筋膜移植により修復した特発性上腰ヘルニアの1例

公立豊岡病院 形成外科

清水健司、田中啓貴、徳力俊治

日本形成外科学会会誌 (0389-4703) 41 巻 11 号  
Page663-667 (2021. 11)

#### 要旨

70 歳女性。左腰部の無痛性腫瘍を主訴とした。腹部単純 CT にて左腰ヘルニアと診断され、ヘルニア手術が計画された。術中所見では外腹斜筋下に径 2.5cm のヘルニア門を認めたため、ヘルニア門を単純縫縮した後、脆弱化した内腹斜筋を大腿筋膜移植により修復した。術後は腹帯を装用し、術後 9 ヶ月経過現在、ヘルニアの再発はみられていない。

**【チャートでわかる救急看護 観察・ケアの流れとポイントが見える！】(2章) 救急での動きかた・患者のみかた<実践>多発外傷(初療から)**

公立豊岡病院 看護部  
濱 武

Emer Log (2434-4559)  
別冊チャートでわかる救急看護  
Page152-162 (2022. 01)

**緩和ケア病棟におけるアロマセラピー導入に向けた教育介入の効果**

公立豊岡病院 看護部  
山下優子、平位美紀、奥田 恵、  
由良直子

日本看護学会論文集：急性期看護・慢性期看護 51 回  
Page201-204 (2021. 08)

**要旨**

A 病院緩和ケア病棟看護師 13 名(女性)へ、看護ケアとしてのアロマセラピー導入へ向けた教育介入として、アロマセラピーの資格をもった看護師が講義と資料提示を行い、その効果を、介入前および介入後 2 ヶ月目に実施した質問紙調査の比較から検討した。その結果、介入前は、アロマセラピーの知識や技術に関する項目で、「あまり知らない」「全く知らない」、「あまりできない」「全くできない」が 85%以上を占めていたが、介入後は、全員がアロマセラピーに対し興味をもち、<アロマの効果に対する期待>や<身体的・精神的な安楽につながる>看護ケアとして積極的に行いたいと肯定的に捉えていた。

**【最新運動療法事情】糖尿病運動療法の実際**

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科  
井垣 誠

DM Ensemble10 巻 1 号  
Page19-25 (2021. 05)

**要旨**

運動療法は、身体活動の向上に伴う効果を期待するものです。身体活動は「運動」と「生活活動」に分けられます(図 1)。「運動」とは計画的に行われるウォーキングや自転車運動、スポーツなどのことで、「生活活動」は炊事、洗濯、掃除などの家事、買い物、仕事、農作業などの日常生活における活動のことを指します。運動療法の効果を得るためには「運動」だけでなく「生活活動」も増やし、1 日の生活全体の身体活動量を増やすことが重要であるといわれています。この生活活動のことはニート(non-exercise activity thermogenesis:NEAT:非運動性熱産生)とも呼ばれています。また近年、高齢糖尿病患者さんのサルコペニアやフレイルの問題が注目されており、運動療法は血糖コントロールの改善だけでなく筋力を維持し、基本動作能力、ADL レベルの維持・向上のためにも重要です。運動療法の要素としては「種類」「強度」「時間」「頻度」「時間帯」があり、血糖コントロールや糖尿病合併症の状況、身体機能を踏まえて運動療法プログラムは立案されます。本稿ではどのように運動療法を組み立てるか、それぞれの要素について解説します。

# 学 会 他 発 表

## 胆道造影のわずかな変化で診断した Endoscopic Sphincterotomy (EST) 後乳頭の十二指腸乳頭部癌

公立豊岡病院 消化器科

原田威徳、栗林 豊、宮垣亜紀、  
竹中淳雄、清水辰宣、山田貴裕、  
上田通雅

第 43 回日本癌局所療法研究会

2021 年 5 月 21 日 於：Web

## Yersinia Pseudotuberculosis による腸間膜リンパ節炎を呈した 2 歳 6 ヶ月女児例

公立豊岡病院 小児科

竹本崇之、西藤知城、三上華奈、  
市川裕太、中山栗太、藤林洋美、  
上田雅章、港 敏則、許 永龍

第 283 回日本小児科学会兵庫県地方会

2021 年 5 月 15 日 於：兵庫県神戸市

## 鳥取県における医療的ケア児の有病率と臨床的特徴の縦断的研究

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

鳥取大学 脳神経小児科<sup>2)</sup>

山田博之<sup>1)</sup>、前垣義弘<sup>2)</sup>

第 63 回日本小児神経学会学術集会

2021 年 5 月 27 日～29 日 於：Web

## 気管支喘息として管理されていた閉塞性細気管支炎の 13 歳女児例

公立豊岡病院 小児科<sup>1)</sup>

リハビリテーション技術科<sup>2)</sup>

港 敏則<sup>1)</sup>、玉城 倫<sup>1)</sup>、市川裕太<sup>1)</sup>、  
西田敬弘<sup>1)</sup>、南部静紀<sup>1)</sup>、藤林洋美<sup>1)</sup>、  
上田雅章<sup>1)</sup>、許 永龍<sup>1)</sup>、小谷栄恵<sup>2)</sup>

第 37 回日本小児臨床アレルギー学会

2021 年 5 月 31 日～6 月 16 日 於：Web

## 当院における起立性調節障害の臨床像

公立豊岡病院 小児科

藤林洋美

第 77 回但馬地区小児科医懇話会

2021 年 8 月 21 日 於：兵庫県豊岡市

## 描画及びその色塗りが有用であった抜毛症女児の 1 例

公立豊岡病院 小児科

港 敏則、藤林洋美、高橋みどり

第 39 回日本小児心身医学会学術集会

2021 年 9 月 23 日～25 日 於：Web

## 地域基幹病院において実施した在宅人工呼吸管理 20 年間の臨床的検討

公立豊岡病院 小児科

港 敏則、藤本将史、西藤知城、  
川村 葵、黒岡祐介、中山栗太、  
竹本崇之、山田博之、藤林洋美、  
上田雅章

第 55 回日本小児呼吸器学会

2021 年 10 月 22 日～23 日 於：Web

## 診断および経過観察に胸部超音波検査が有用であった肺膿瘍の一例

公立豊岡病院 小児科

西藤知城、市川裕太、三上華奈、  
中山栗太、竹本崇之、藤林洋美、  
上田雅章、港 敏則

第 55 回日本小児呼吸器学会

2021 年 10 月 22 日～23 日 於：Web

## 肥満と呼吸障害

公立豊岡病院 小児科

中山栗太

第 78 回但馬地区小児科医懇話会

2022 年 1 月 15 日 於：兵庫県豊岡市

## 高血圧を呈した肥満症

公立豊岡病院 小児科

藤本将史

第 78 回但馬地区小児科医懇話会

2022 年 1 月 15 日 於：兵庫県豊岡市

## 胎児頻脈を呈し、心房粗動に対して生後早期に心臓除細動を施行した 1 例

公立豊岡病院 小児科

川村 葵、藤本将史、西藤知城、

黒岡祐介、中山栗太、竹本崇之、

山田博之、藤林洋美、上田雅章、

港 敏則

第 285 回日本小児科学会兵庫県地方会

2022 年 2 月 5 日 於：Web

## 補助的診断とフォローに筋肉超音波検査が有用であった大腿部化膿性筋炎の乳児例

公立豊岡病院 小児科

藤本将史、山田博之、松尾 進、

土肥周平、中山栗太、竹本崇之、

藤林洋美、上田雅章、港 敏則

第 35 回近畿小児科学会

2022 年 2 月 27 日 於：Web

## 当院におけるロボット支援下胃癌手術の導入

公立豊岡病院 外科

三木 明

第 94 回日本胃癌学会総会

2022 年 3 月 2 日～4 日 於：Web

## 当施設での残胃癌の外科的治療の現況

公立豊岡病院 外科

栗根健人

第 94 回日本胃癌学会総会

2022 年 3 月 2 日～4 日 於：Web

## 転移性皮膚悪性腫瘍に対し、手術治療を行った 3 症例

公立豊岡病院 形成外科

徳力俊治、田中啓貴、清水健司

第 128 回関西形成外科学会学術集会

2021 年 7 月 11 日 於：和歌山県和歌山市

## 当院での悪性黒色腫に対する抗 PD-1 抗体ニボルマブの使用経験

公立豊岡病院 形成外科

田中啓貴、清水健司、徳力俊治

令和 3 年度京大形成外科集談会

2021 年 8 月 7 日 於：京都 (Web)

## 当院にて入院治療を行った熱傷患者の過去 10 年における変遷

公立豊岡病院 形成外科

永渕瑞生、清水健司、徳力俊治

第 30 回日本熱傷学会近畿地方会

2022 年 1 月 22 日 於：京都 (Web)

## 卵巣癌再発後の長期寛解生存に関する多施設後方視的研究

公立豊岡病院 産婦人科<sup>1)</sup>

日赤和歌山医療センター 産婦人科<sup>2)</sup>

京都大学医学部 産科婦人科教室<sup>3)</sup>

滋賀県立総合病院 婦人科<sup>4)</sup>

近畿大学医学部 産科婦人科学教室<sup>5)</sup>

住友理浩<sup>1)</sup>、山西優紀夫<sup>2)</sup>、

植田彰彦<sup>3)</sup>、村上隆介<sup>4)</sup>、松村謙臣<sup>5)</sup>

第 73 回日本産科婦人科学会学術集会

2021 年 4 月 22 日～25 日 於：新潟県新潟市

### 腹腔鏡下子宮体癌手術後に腔壁再発した一例

公立豊岡病院 産婦人科  
上林翔大、濱田航平、山田 香、  
門元辰樹、住友理浩  
第 144 回近畿産科婦人科学会学術集会  
2021 年 6 月 19 日～20 日 於：兵庫県神戸市

### Pembrolizumab が奏功した子宮体部小細胞神経内分泌癌の一例

公立豊岡病院 産婦人科  
山田 香、濱田航平、門元辰樹、  
上林翔大、住友理浩  
第 63 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会  
2021 年 7 月 16 日～30 日 於：オンデマンド配信

### 術前に診断が困難だった Uterine Tumors Resembling Ovarian Sex Cord Tumors の一例

公立豊岡病院 産婦人科  
山田 香、今竹ひかる、濱田航平、  
門元辰樹、上林翔大、住友理浩  
第 95 回兵庫県産科婦人科学会学術集会  
2021 年 8 月 1 日～7 日 於：オンデマンド配信

### 腹腔鏡下单純子宮全摘術におけるインジゴカルミンを使用した尿管損傷の評価法の検討

公立豊岡病院 産婦人科  
山田 香、今竹ひかる、濱田航平、  
門元辰樹、上林翔大、住友理浩  
第 61 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会  
2021 年 9 月 11 日～13 日 於：オンデマンド配信

### 僻地におけるロボット支援下手術導入の試み

公立豊岡病院 産婦人科  
住友理浩  
第 4 回産婦人科骨盤内手術手技研究会  
2021 年 11 月 19 日 於：京都市 (Web)

### 当院における PARP 阻害薬の使用経験

公立豊岡病院 産婦人科  
今竹ひかる、大月美輝、濱田航平、  
門元辰樹、上林翔大、住友理浩  
兵庫産婦人科医卵巣癌セミナー  
2021 年 12 月 10 日 於：神戸市 (Web)

### レミゾラムによる全身麻酔覚醒後に再鎮静を引き起こした一例

公立豊岡病院 麻酔科  
正田丈裕、田井綾乃、蔭山 成  
日本臨床麻酔学会第 41 回大会  
2021 年 11 月 5 日～6 日 於：北海道札幌市

### 腹部緊急手術で術中異常高血圧をきたし副腎褐色細胞腫を疑った症例

公立豊岡病院 研修医<sup>1)</sup>  
麻酔科<sup>2)</sup>  
河野遙香<sup>1)</sup>、蔭山 成<sup>2)</sup>、田井綾乃<sup>2)</sup>、  
岡村章平<sup>2)</sup>、正田丈裕<sup>2)</sup>  
第 67 回日本麻酔学会関西支部学術集会  
2021 年 9 月 4 日～10 月 4 日 於：Web

### 急性期病院で行う院内デイケアの取り組み

公立豊岡病院 看護部  
吉垣留美子、安原沙織、松下尚美、  
田中 薫  
日本認知症ケア学会第 22 回大会  
2021 年 6 月 5 日～10 月 5 日 於：Web

### がん患者が住み慣れた地域で在宅療養ができるために ～退院調整における緩和ケア認定看護師の役割～

公立豊岡病院 看護部  
山崎 恵  
第 59 回全国自治体病院学会  
2021 年 11 月 4 日～5 日 於：奈良市 (Web)

### COVID-19 治療中に肺炎球菌菌血症を来した 1 例

公立豊岡病院 薬剤部

小川 結、今井清隆、上田 拓

第 43 回日本病院薬剤師会近畿学術大会

2022 年 1 月 29 日～30 日 於：Web

### 薬剤師のための緩和薬物療法マニュアルの評価と改訂

公立豊岡病院 薬剤部

中永かおり、大垣孝文、木瀬大輔、

霜倉智子、松下 葵

第 43 回日本病院薬剤師会近畿学術大会

2022 年 1 月 29 日～30 日 於：Web

### 胃透視検査のマニュアル化に伴う DRLs2020 との比較検討

公立豊岡病院 放射線技術科

大石智典

第 59 回全国自治体病院学会

2021 年 11 月 4 日～5 日 於：奈良市 (Web)

### X 線 TV における透視モードの検討

公立豊岡病院 放射線技術科

津谷沙知、山本明里、林 直樹、

増田竜馬、澤田尚之

第 37 回日本診療放射線技師学術大会

2021 年 11 月 14 日 於：Web

### X 線透視撮影装置の放射線防護カーテンが患者被ばく線量に及ぼす影響

公立豊岡病院 放射線技術科

増田竜馬、林 直樹、山本明里、

津谷沙知、澤田尚之

第 37 回日本診療放射線技師学術大会

2021 年 11 月 14 日 於：Web

### 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準緩和に伴う臨床工学技士業務の取り組み

公立豊岡病院 臨床工学技術科<sup>1)</sup>

循環器内科<sup>2)</sup>

尾田友広<sup>1)</sup>、山中彰浩<sup>1)</sup>、谷口友基<sup>1)</sup>、

片岡明俊<sup>1)</sup>、西田祐樹<sup>1)</sup>、西本 剛<sup>1)</sup>、

加藤航平<sup>1)</sup>、上岡翔太<sup>1)</sup>、田中慎二<sup>1)</sup>、

田中雅人<sup>1)</sup>、後藤佳子<sup>1)</sup>、栃尾孝之<sup>1)</sup>、

福井秀行<sup>1)</sup>、石田明彦<sup>2)</sup>

第 38 回日本心血管インターベンション治療学会

近畿地方会

2022 年 2 月 19 日 於：Web

### 左 TKA 術後、体幹機能トレーニングが歩行能力改善に有効であった一症例

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科

岡田英基

第 32 回兵庫県理学療法学会

2021 年 7 月 18 日 於：Web

### 訪問リハビリテーションにおいて合併症としての糖尿病をどのように考慮するか

公立豊岡病院 リハビリテーション技術科

井垣 誠

第 7 回日本糖尿病理学療法学会症例報告

学術集会・学術大会 合同大会

2021 年 8 月 29 日 於：Web

### ビジョナリーホスピタルをお手本にした病院経営の取り組み

公立豊岡病院 管理部

白髭清久

第 59 回全国自治体病院学会

2021 年 11 月 4 日～5 日 於：奈良市 (Web)

# 講 演

診療科	演者名	題名	講演会名・年月日
脳神経内科	横手 明義	高齢化が進む地域にて心原性脳梗塞を減少させた取り組み	高齢者AFTータルケアUp To Date 2021(Web配信) 令和3年11月15日
呼吸器内科	中治 仁志	喘息診療の変遷と今後	GSK Severe Asthma Seminar in 但馬(Web配信) 令和3年4月15日
		新型コロナウイルス感染症への但馬地域における治療の現状等について	新型コロナウイルス感染症対策医療従事者研修会(Web配信) 令和3年4月20日
		喘息管理における吸入療法	GSK Asthma Seminar in 但馬(豊岡市) 令和3年7月29日
		重症喘息におけるBiologics診療～患者さんに合わせた薬剤選択～	GSK Severe Asthma Expert Seminar (Web配信) 令和4年3月4日
		これだけは知っておきたい新型コロナウイルス感染症	兵庫県病院局市民公開講座(豊岡市) 令和4年3月10日
消化器科	宮垣 亜紀	慢性便秘症治療について	持田製薬株式会社社員教育(Web配信) 令和3年6月8日
		地域中核病院におけるHER2検査の現状と今後の課題	胃がん診療Updateセミナーin兵庫(Web配信) 令和4年3月25日
循環器内科	石田 明彦	心不全治療について	持田製薬株式会社社員教育(Web配信) 令和3年12月13日
		生活習慣病	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年12月20日
	山本 哲也	Late Luman enlargement	第11回豊橋ライブデモンストレーションコース(Web配信) 令和3年6月25日
		Late Luman enlargement	Late Luman Enlargementセミナー(Web配信) 令和3年7月29日
		complex症例①	REAL PCI Case Conference 2nd 講演会(Web配信) 令和3年9月14日
		当院におけるARNIの使用経験	心不全診療カンファレンスin但馬(Web配信) 令和3年9月22日
CTOにおける最新治療	Terumo LINK講演会(Web配信) 令和3年9月27日		
精神科	三木 寛隆	精神科臨床と共感性	第45回兵庫県薬剤師会但馬支部・兵庫県病院薬剤師会但馬支部共催研修会(豊岡市) 令和3年7月21日
		認知症早期診断の課題と現状	但馬 認知症診療の近未来を考える会(Web配信) 令和3年9月4日

精神科	安東 宇揚	不眠症領域における診断と治療	エーザイ株式会社「MR研修会」(豊岡市) 令和3年6月10日
		不眠症の加療戦略、最近見るデエビコって何?~とこで不眠時、睡眠薬はどれを使いますか?~	睡眠薬の適正使用を考える会in出石(Web配信) 令和3年11月29日
		不眠症の加療戦略 最近見るレンボレキサントって何?~睡眠薬はどれを使いますか?~	睡眠薬の適正使用を考える会in美方(Web配信) 令和4年2月21日
		不眠症の加療戦略~病診間でのシームレスな処方のために~	睡眠薬の適正使用を考える会in養父・朝来(Web配信) 令和4年3月23日
精神科	酒井 弘人	うつ病の診断と治療について	精神科医療を考えるin但馬(Web配信) 令和4年3月4日
	六田 泰央	DLBの精神症状への対応について	DLBセミナーin但馬(Web配信) 令和4年1月24日
	桂木 賢太郎	かかりつけ医のためのアルコール使用障害入門~初期対応と地域連携~	プライマリケアにおけるアルコール問題について考える会in但馬(Web配信) 令和3年12月17日
外科	三木 明	胃癌治療に関する講演	大鵬薬品工業株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年5月21日
形成外科	徳力 俊治	腋臭症・腋窩多汗症に対する手術治療	科研製薬株式会社兵庫第2営業所社外講師勉強会(神戸市) 令和3年10月29日
脳神経外科	石井 大嗣	脳卒中後てんかんにおける周術期治療の実際	周術期てんかん診療セミナー(Web配信) 令和3年12月20日
		豊岡病院における周術期てんかん発作のマネジメント	脳神経外科カンファレンスセミナーin但馬(Web配信) 令和4年1月21日
呼吸器・ 心臓血管外科	井内 幹人	EVAR治療戦略	日本ライフライン株式会社社内講演会(Web配信) 令和3年6月17日
皮膚科	秋山 創	乾癬治療における薬剤選択とBio製剤の使用経験について	大鵬薬品工業株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年4月5日
		乾癬治療の最新の治験	ユーシービージャパン株式会社社内講演会(Web配信) 令和3年6月24日
		水疱症とその治療	医学教育会(豊岡市) 令和3年9月1日
		乾癬とその治療	ヤンセンファーマ株式会社社内セミナー講演(Web配信) 令和3年9月27日
		帯状疱疹の病態と治療	自己免疫性疾患診療を考える会in但馬(Web配信) 令和3年10月6日
		当院における乾癬治療	大鵬薬品工業株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年11月18日

皮膚科	秋山 創	当院での強皮症の治療について	日本新薬株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年12月9日
		水疱症について	日本製薬株式会社医学教育会(豊岡市) 令和4年2月2日
		乾癬とその治療	ヤンセンファーマ株式会社社内セミナー講演(Web配信) 令和4年2月17日
泌尿器科	渡部 淳	当院における前立腺がんの手術・治療について	日本新薬株式会社社内研修会(Web配信) 令和3年6月23日
産婦人科	住友 理浩	ロボット支援下子宮全摘術について	第4回産婦人科骨盤内手術手技研究会(Web配信) 令和3年11月19日
	今竹 ひかる	当院におけるPARP阻害薬の使用経験	兵庫県産婦人科医卵巣がんセミナー(Web配信) 令和3年12月10日
放射線治療科	松井 勝則	ちょっと気になる例の件～DNAR症例、当院の現状～	第52回京都放射線治療研究会(Web配信) 令和4年3月19日
看護部	小畑 敬信	手術看護認定看護師実践報告「手術看護のニューノーマル～患者と手術室の安全を守るために～」	第8回日本手術看護学会近畿地区大会 (WEBサイトでのオンデマンド配信)
	安原 沙織	リエゾンナースの動き方～病棟で困った！”眠らない患者”へのケアの工夫～	病棟における睡眠薬の適正使用を考える会in但馬(Web配信) 令和3年8月18日
		倫理と医療安全	令和3年度兵庫県看護協会但馬支部研修「倫理と医療安全」(養父市) 令和3年10月30日
		リエゾンナースの動き方～病棟で困った！”眠らない患者”へのケアの工夫～	睡眠薬の適正使用を考える会in出石(Web配信) 令和3年11月29日
		精神疾患の基礎知識や対応方法、職員のメンタルヘルスについて	但丹地区養護老人ホーム職員研修会(Web配信) 令和3年12月2日
		”眠らない患者”とのコミュニケーションのコツ	睡眠薬の適正使用を考える会in美方(Web配信) 令和4年2月21日
	藤巻 ゆかり	救急救命センターでの看護師の業務、フライトナースの魅力、消防機関を含む多職種連携について	新潟医療福祉大学救急救命学科講演(Web配信) 令和3年10月1日
中田 淳子	スキンケアについて	スキンケアについて(Web配信) 令和3年11月19日	
感染管理室	藤本 裕子	在宅における感染管理について	令和3年度但馬地区訪問看護ステーション連絡協議会第1回研修会(Web配信) 令和3年10月16日
薬剤部	今井 清隆	リエゾンラウンドにおける薬剤師の存在意義について深く考えることになった齢39の秋	睡眠薬の適正使用を考える会in出石(Web配信) 令和3年11月29日
放射線技術科	江尻 克也	診断支援ソフトVSBONEの運用へ向けて	第50回兵庫県核医学技術検討会(Web配信) 令和3年7月3日

放射線技術科	綱 裕人	救急胸痛CT検査～単純所見を見逃さない～	第23回近畿救急撮影セミナー(Web配信) 令和4年3月5日
検査技術科	久保 侑也	当院におけるClostridioides difficile(CD)培養の検討	丹但地区兵庫県臨床検査技師会研修会(ハイブリッド開催) 令和3年6月27日
	松井 絢太郎	当院における新型コロナウイルス核酸抽出検査に対する取り組み	丹但地区兵庫県臨床検査技師会研修会(ハイブリッド開催) 令和3年6月27日
臨床工学技術科	尾田 友広	ECPR(Extracorporeal Cardio Pulmonary Resuscitation:体外循環式心肺蘇生法)について	(一社)兵庫県臨床工学技師会第61回定期学習会(Web配信) 令和3年9月4日
		血行動態モニタリングを臨床工学技士の立場で語ってみる	「今更、血行動態モニタリング?医療チームで語る本音」講演会(Web配信) 令和3年9月15日
	西田 祐樹	心筋保護法	扶桑薬品工業株式会社社内研修会(Web配信) 令和4年3月25日
リハビリテーション技術科	井垣 誠	移動圏からみた糖尿病患者の運動療法(理学療法)	第35回糖尿病セミナー『おおさか』(Web配信) 令和3年6月12日
		理学療法の再考Ⅱ-これまでとこれから-	第31回福岡県理学療法士学会(Web配信) 令和4年2月13日
		運動療法	島根県糖尿病療養指導士制度第12期第2回認定研修会(Web配信) 令和4年3月5日
	山田 和希	リズムジャンプ講習会	令和3年度兵庫県高体研但馬支部第1回研修会(豊岡市) 令和3年7月6日
	西田 昌平	正しい歩き方講座	正しい歩き方講座(豊岡市) 令和3年11月7日

# 研修報告

# フライトナース育成の促進

公立豊岡病院 看護師長

吉谷 雅代

## 1. はじめに

但馬地域の救急医療の要となる、ドクターヘリによる医療提供体制を継続させるために、安定的にフライトナースを確保し実践能力の向上に努める必要がある。しかし、フライトナース誕生までには、高いスキルを習得するための期間と努力を要し育成が滞っている現状がある。

2022年1月12日から2月4日まで、認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講し、課題分析、改善計画の立案と実践について取り組んだので報告する。

## 2. 分析と課題

当院はドクターヘリの基地病院として、日本一の運行回数を誇り、フライトナースを目指す看護師が全国各地から訪れる。しかし、実際にフライトナースとして認定されるまでには、様々な研修を重ね、実践能力の評価基準を満たす必要がある。その過程の中で、挫折し救急領域から離れていく看護師もある。

2010年運航開始時は9名在籍していたフライトナースが、現在6名に減り、過去10年間で新たにフライトナースに認定された看護師は4名しかない。

フライトナースの育成が停滞している要因として、

- ①研修を受ける看護師の知識・技術レベルの基準が明確にされていない。
- ②フライトナース育成の過程や進捗状況がスタッフに公表されず、看護師長とフライトナースのみが携わっている。
- ③高い実践能力だけでなく、リーダー看護師として一人前であることが求められる。
- ④フライトナースを目指す強い意志と精神力が必要である

ことなどがあげられる。

リーダー業務を担いフライトナース育成プログラムのスタート地点に立てたとしても、研修が始まると知識・技術不足が表面化し認定されないことで、フライトナースを目指す看護師のモチベーション低下に繋がっていた。そこで、要因分析の結果と、フライトナース育成プログラムを照らし合わせ、改善すべき点はないか検討することとした。

## 3. 取り組みの実際

### 1) 目的

フライトナースの育成プログラムの見直しと、育成体制の再構築を行う。

### 2) 取り組み期間

2022年2月1日から2022年6月30日

### 3) 行動計画

現状分析結果を、三役とフライトナースで共有し検討する。

#### (1) 2月

- ①育成プログラムの研修評価は看護師長と副看護師長が行う。
- ②フライトナースは研修指導に専念する。
- ③研修前到達基準を4月までに作成する。  
(フライトナース・副看護師長・看護師長)

#### (2) 3月

- ①フライトナースの毎月の定例会に看護師長・副看護師長が参加し、研修中の看護師の状況を把握する。
- ②他施設のフライトナース研修や評価基準の情報を収集する。

#### (3) 5月

研修前到達基準をスタッフに公表し、運用開始する。

#### 4. 結果と考察

フライトナースを育成することは部署の使命である。プレホスピタル看護の経験がない副師長や主任は、フライトナース育成の参画に消極的であった。しかし、フライトナースの育成が進まない要因を分析し、その結果と取り組みについて副看護師長、主任、フライトナースで共有し理解を得て取り組みを開始した。フライトナース定例会に、看護師長と共に副看護師長が参加することで、研修中の問題点や課題の共有に繋がった。フライトナースは実践面の指導を担い、看護師長・副看護師長は評価を担うこととした。看護師長・副看護師長が評価を行うことで、実践面以外に、協調性や調整力、フライトナースとしての資質についてなど視点を広げた評価が可能となった。副看護師長が研修に参画することは、部署全体でフライトナースを育成する必要があるという、共通認識に繋がったと考える。

研修前到達基準を作成するため他施設の情報収集を行ったが部署異動となり、研修前到達基準の作成には至らなかった。しかし、研修前到達基準があれば、一定の基準を満たした看護師が研修を受けることになり、研修がスムーズに進みフライトナースに認定される看護師が増えると考えた。また、スタッフに研修前到達基準を公表することで、フライトナースを目指す看護師に具体的な目標を示すことができ、モチベーションを上げることにも繋がると考える。

フライトナースの育成は、部署の最重要課題の一つであった。看護師長に昇任後、フライトナース不足を目の当たりにし、何とかしなければならぬといった焦りが先行し、闇雲に行動してきた中、認定看護管理者研修受講の機会を得た。マネジメントを進める中で、「ニーズをよむ力」「分析を深く行う力」「実行する力」の3つの力が重要である<sup>1)</sup>ことを再認識した。視野を広げた現状分析と、具体的で実現可能な行動計画を立案することで、周囲の理解が得られ協働出来たことが一定の成果に繋がったと考える。

部署スタッフは自己の目標を持ち、キャリアアップを目指すスタッフも多い。個々の目標を支援し、人材育成をすることは看護師長にとって最も重要な役割であると考えられる。

#### 5. 引用文献

- 1) 井部俊子 監修. 看護管理学習テキスト第3版第3巻人材管理論 2020年版. 日本看護協会出版会. 2020. p 69-70

## 組織的役割遂行能力が発揮できるリーダーの育成

公立豊岡病院 看護師長

由良 直子

### 1. はじめに

自部署の特徴として、日々リーダーを担う看護の実践能力は高いが、業務に追われるメンバーへの調整力と発信力は低く、患者の変化に合わせた様々な、看護上の問題点を検討するケースカンファレンスが開催されていない現状がある。

認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講し、自部署について分析し役割発揮ができるリーダー育成に取り組んだので報告する。

### 2. 現状分析

毎日の業務は、リーダーがメンバーの調整、チーム内の患者把握、患者に関する全てのカンファレンスの実施、業務の確認や指導など補完的な役割を担っている。そのなかで、ケースカンファレンスの実施は、チームで最良の医療やケアを提供するために最も重要であると考えている。しかし、多忙を理由に、医療安全や退院調整に関わる最低限のものしかできていない現状がある。日々患者の状態変化に合わせた様々な看護上の問題点について検討することは、看護の質に大きく影響する。

当病棟でリーダーを担う看護師は、副看護師長、主任看護師を含む8名で、全体の36%である。そのうち部署経験3年以上が80%を占める。キャリア開発ラダー評価において、看護の核となる実践能力は高いが、組織的役割遂行能力である「教える力」「創造改善する力」の自己評価は「できる」が27%「支援があればできる」は53%と低い。看護師長として、経験値の積み重ねで得られる実践能力に加え、そこから考え学び取るリーダーとしての役割が、習得できていない事が問題であると認識した。

そこで、チーム医療の要とも言えるケースカンファレンスを定着させることで、リーダーに求められる情報収集力、調整力、発信力、行動力等を

習得し、メンバーから信頼されるリーダーを育成したいと考えた。

### 3. 取り組みについて

#### 1) 目的

ケースカンファレンスを定着させることで、日々リーダーの役割遂行能力を高める。

#### 2) 取り組んだ期間

2021年10月1日から2022年3月31日

#### 3) 課題達成のための計画

(1) 10月：副看護師長、主任看護師、リーダーに取り組みについて説明をする。

・看護師長が求めるリーダー像について、またその役割について。

・ケースカンファレンスが実施できない要因抽出と、具体的解決方法を検討。

(2) 11月：病棟カンファレンスで、ケースカンファレンスの重要性、実施方法の改善策について報告する。

(3) 12月：リーダー会でカンファレンスの実施状況の確認と課題検討。

(4) 3月：キャリア開発ラダーに準じ自己評価し、課題と次年度の目標について、看護師長と育成面接を行う。その中で、リーダー看護師個々の役割遂行能力を分析しながら目標を具体化し行動を支援する。

(5) 3月：リーダー看護師の役割的遂行能力の評価を分析する。

### 4. 実践結果

リーダー会でカンファレンス実施を困難にする要因について検討した。「声をかけられない」「ナースコールやセンサーで離席していく」といった環境面と「メンバーから得た情報から、検討課題を見出すことができない」「患者状態からカンファ

レンスの優先順位がつけられない」など、自ら患者の状況を把握し、主体的に検討事項を提案することができない若いリーダーの未熟さが、不安要素になっていることが分かった。

環境面での改善策として、各チームのリーダーが実施時間の決定、応援体制をとるなどの調整を行い、チーム間で共有することとした。カンファレンス実施に対する不安については、個人の性格やリーダーとしての経験の差もあり、主体的に行動することはできなかったが、副看護師長、主任看護師がカンファレンスのファシリテーターとなり、そのスキルを伝授する場面もあった。

リーダー会で説明後、リーダーの自発的な行動を期待したが、行動に変化はなく副看護師長、主任看護師の支援を必要とした。しかし、12月は、実施に向け環境を整え、具体的な開催方法をリーダー自身が考えることで意識変化に繋がり、徐々にではあるが開催日が増えた。また、2月に看護師長がリーダーに、取り組みの実際と問題点、気持ちの変化や問題点について聞き取りを行った。

「患者個々のケアを考えるようになった」「多職種参加の時間調整が難しい」などの意見があった。リーダーによっては、リハビリを見学し、情報収集と事前に多職種とカンファレンス内容を検討し提示するようになった。業務状況により定着には至らないが、取り組み前と比較し、カンファレンス開催の調整や検討内容の抽出、多職種への参加依頼などリーダーの行動に変化が見られた。

育成面接時のキャリア開発リーダーの「教える力」「創造改善する力」の自己評価は「できる」は33%「支援があればできる」は67%とやや向上し「努力を要する」と自己評価したスタッフは1人もいなかった。

## 5. 考察

医療現場で行われるケースカンファレンスは、医療の質を担保するための重要な機会であり、患者の一番身近な存在である看護師が、患者の病状の変化や問題に気づき問題意識を持つことは重要な役割である。多様な経験を持つメンバーを牽引していくことは難しく、リーダーの経験値による能力の差もある。しかし、リーダーを担う看護師が抱くリーダー像はどのようなものか、看護師として大切にしていることを語りあい、そこから自

部署を見つめ直すことで課題を共有し、進むべき方向性を確認することができた。

組織的役割遂行能力の達成に向けては、病棟の目指す姿を個人目標に結び付け、実践する価値や意義を持てる動機付けが必要である。さらに、自立性を引き出す環境づくりと実践機会を設けるサポート体制づくりが、重要であると考えられる。

## 6. 参考文献

- 1) 井部俊子 監修. 看護管理学習テキスト第3版第3巻人材管理論 2020年版. 日本看護協会出版会. 2020
- 2) 得丸尊子. 知っておきたい「看護管理」. 関西看護出版. 2015

# 資料

## 公立豊岡病院紀要投稿規定

- 1) 本紀要は公立豊岡病院（本院）の職員およびその関係者の研究業績等を掲載する機関紙（電子媒体）で年1回発行します。
- 2) 本紀要に掲載する内容は次の通りとします。
  - ①研究論文（総説、原著、症例報告等。但し他誌に発表されていない論文に限ります。なお、学会、研究会での発表はこの限りではありません。）
  - ②研究業績（原著論文、総説・解説、著書および学会・研究会発表。但し、本院に関係した業績に限ります。）
  - ③講演会、集談会等の学術活動の業績
  - ④視察、研修講習会等の報告、後記
  - ⑤その他編集委員が適当と認めたもの
- 3) 原稿は次の要領で記載してください。
  - ①研究論文は和文または英文とします。
    - (a)論文執筆にあたっては論文執筆要領を参照してください。
    - (b)著者校正は誤植の訂正にとどめ、内容の改変はしないでください。
  - ②学会、研究会の発表業績は発表抄録を収載します。他に演題名、所属、氏名、学会研究会名、発表月日を付記してください。
  - ③研究業績については和文の場合800字程度、英文の場合400語程度の抄録を収載します。他に表題、所属、著者名、掲載誌名または著書名、発行所、巻（号）、頁（始頁-終頁）、発行年（西暦）を付記してください。
  - ④講演会、研修会等の業績については演題名、所属、氏名、会名、発表年月日の順に記載してください。
  - ⑤視察、研修講習会等の報告等は論文執筆要領1]に準じてください。
- 4) 本紀要の掲載研究業績の区切りは本誌発行の前年度（前年4月1日より発行年3月31日まで）とし、原稿の締切は8月末日とします。なお、原著論文、著書等においては発行年月日をもって業績日とします。
- 5) 本紀要の原稿は編集委員会事務局へ提出してください。なお、不明点、疑問点がありましたら、事務局にお尋ねください。

公立豊岡病院紀要編集委員会

事務局：〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧 1094

公立豊岡病院 教育研修課

TEL:0796-22-6111 内線 2217

## 公立豊岡病院紀要論文執筆要領

1) 和文論文、英文論文とも、ワープロまたはパソコンの編集ソフトを使用して作成したものを、A4判の用紙に片面印刷して提出する。書式などは特に問わないが、ごく標準的な形式であることが望ましい。

文字数は、和文論文で約5,000字、英文論文で2,500語を超えない程度とし、図表・写真は合計で12枚程度とする。

なお、テキストデータを保存した記憶媒体を同時に提出する。また、画像データについては編集ソフトで貼り込んだものの他に、オリジナルのデータを添付することが望ましい。ポジフィルム、プリントも受け付ける。

2) 論文の構成は表題、所属、著者名、要旨、キーワードおよび本文とする。本文は緒言、症例、方法、成績、考察、結語および文献とし、図表を付ける。

なお、これらの項目のうち適宜省略しても構わない。

3) 表題は内容を簡潔、的確に明示するものとし、略語はなるべく用いない。

4) 要旨は、和文では400字以内、英文では200語以内とし、内容を的確に表現する。

5) キーワードは英語で5個以内とし、Index Medicusなどで用いられている用語が望ましい。また、用語の先頭の文字は大文字で記載する。

(例) Key Words : Echocardiogram, Acuteabdomen, Digoxin

6) 本分での人名はなるべく原語を用いる。略語を使うときは初出時に正式名を記し、( ) 内に記入した後に使用する。関連領域で周知の略語でも乱用は避ける。度量衡の単位はCGSを、年号は西暦を、数字は算用数字を使用する。

7) 図、表、写真は和文の場合は図、表、写真、英文の場合はFig, Tab, Photoと記し、複数の場合には1,2,...を添え、必ず標題を付ける。また、必要ならば説明を添える。

なお、図、写真の説明は下に、表の場合は上に入れ、図表等の挿入箇所を本文の欄外に指定する。

8) 文献の記載は本文該当部の右肩に引用順に番号(引用番号)を片括弧で記し、本文最後の文献の項に整理して記す。

(a) 著者名は2名までのときは併記、3名以上のときは筆頭者氏名、他とする。

(b) 表題は必ず記載する。

(c) 雑誌名は個々の雑誌で定めた略記に従い、省略の

ピリオドは打たない。

(d) 頁は通巻頁により、最初と最後を併記する。

(e) 文献記載の書式は、雑誌の場合、引用番号、著者名、表題、雑誌名、巻(号)、頁(始頁—終頁)、発行年(西暦)の順に、また、単行本の場合は引用番号、著者名、表題、書名(編集名)、巻数、版数、出版社名、発行年(西暦)、頁(始頁—終頁)の順に記載し、以下の例示に従う。

[雑誌]

1) 長尾光、河村慧四郎：心筋症と心臓突然死。

最新医学 46(5) : 1067—1071, 1991

2) 北村正次、他：早期胃癌の術後再発形式および死亡原因の検討。日消外会誌 24(12) : 2894—2899, 1991

3) Rawal N, Wattwil M : Respiratory Depression after Epidural Morphine-An Experimental and Clinical Study. Anesth Analg 63(1) : 8—14, 1984

4) Lin C et al : The internal septal echocardiogram : Relationship to leftatrial volume change in normal and disease heart.

Am Heart J 107(3) : 519—525, 1984

[単行本]

5) 坂本恵子：ストーマケア オストメートへの理解と援助。第1版、医学書院、1985、p108—133

6) 和田義郎：小児の蛋白代謝とその調節、新小児医学大系(小林登、他編)、第17巻A(小児代謝病学I)、第1刷、中山書店、1984、p241—253

7) loeb R : Aesthetic Surgery of the Eyelids, 1st ed, Springer-Verlag New York Inc, 1989, P49—52

8) Grossman M et al: Diagnostic Needle Aspiration of the Pancreas.

Gastroenterology (Berk JE et al eds), Vo16, 4th ed, Saunders Company, 1985, p3962—3970

9) 本紀要の論文は

国立国会図書館 (ISSN)、医学中央雑誌、JOISのデータベースに登録されますので、和文論文では英文の、英文論文では和文の抄録を付けることを歓迎します。

抄録は表題、著者名、所属、キーワード(5語以内)および抄録分(和文:400字以内、英文:200語以内)で構成し、抄録文では目的、結果および結論を明示する。

---

## 編集後記

第34号公立豊岡病院紀要をお届けいたします。本号は紀要が電子化して3号目となります。本号もコロナ禍という困難な時期にも関わらず、皆一丸となって創り上げていただきました。皆様には感謝の言葉しかありません。

3年間のコロナ禍にあって、病院の体勢、仕事環境をはじめ、生活環境、人間関係が一変してしまいました。もういい加減にしてくれというのが皆様の共通の思いだったと思います。

このような状況の中、この号では研究論文1篇、研修報告2篇と、他誌に掲載された10篇の論文、多数の学会発表を紹介することができました。

皆様の学術的に、情熱的にいろいろ取り組まれておられることに感動いたします。

公立豊岡病院紀要は、これからも患者のためのよい医療を行うための、学術的に向上するための羅針盤となっていきたいと考えています。

これからも「公立豊岡病院紀要」は続きます。公立豊岡病院の輝かしい未来を創るために、そして、我々自身のすばらしい未来を創るために、来年度も「紀要」に投稿をお願いします。

公立豊岡病院紀要編集委員会  
委員長 松島 一士

---

## 紀要編集委員会

### 委員長

松島 一士 (図書学術室長)

### 委員

石田 明彦 (循環器内科)	徳力 俊治 (形成外科)
稲葉 京子 (看護部)	鹿田 さおり (看護部)
椿野 尚子 (薬剤部)	長岡 克也 (検査技術科)
糸乗 卓哉 (リハビリテーション技術科)	田中 薫 (教育・診療支援部)
坂田 康則 (教育研修課)	

### 事務局

小林 和将

# 公立豊岡病院紀要 第34号

令和5年3月31日発行

**編集** 公立豊岡病院紀要編集委員会

**発行・印刷** 公立豊岡病院組合立豊岡病院

兵庫県豊岡市戸牧 1094

TEL (0796)22-6111